

# 情報連絡員報告

(令和6年8月期)

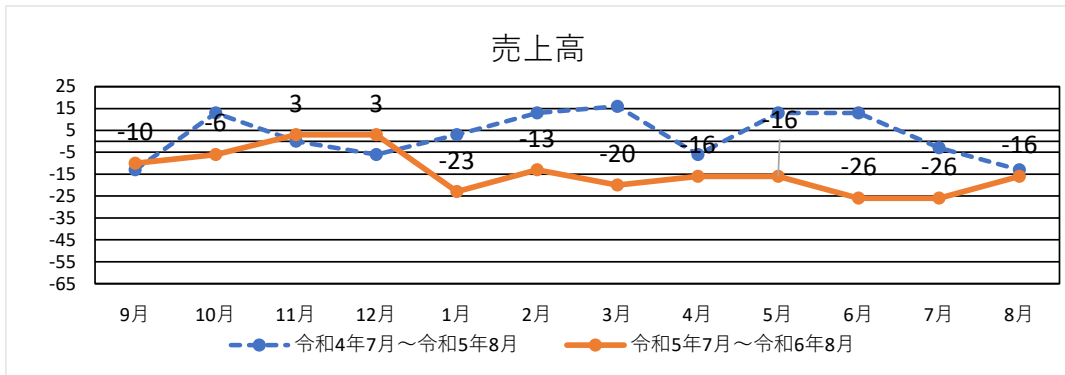
情報連絡員 30名  
回答者数 30名

## 全体概況

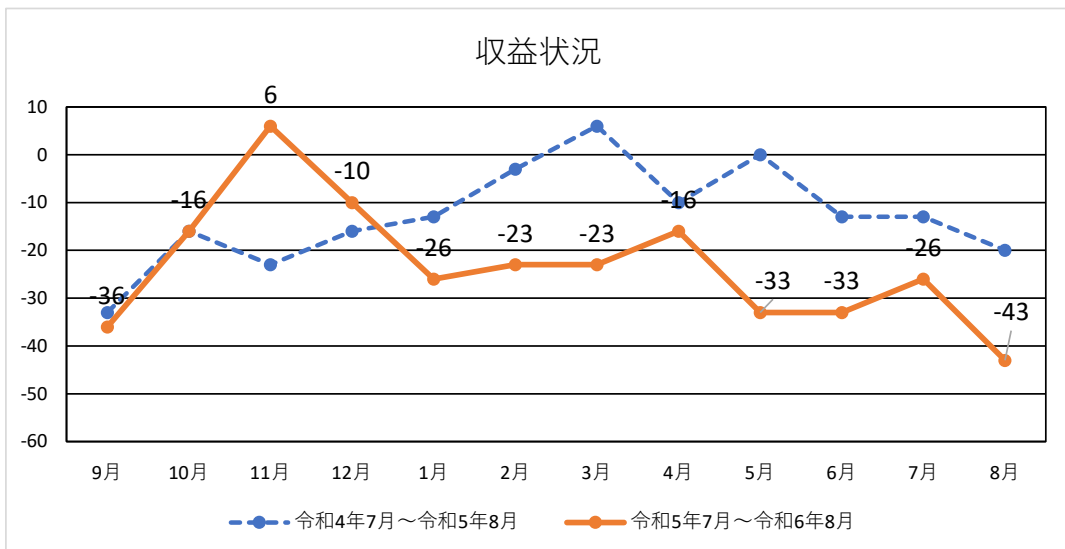
DI値は、前月と比較して、売上高は10ポイント改善、収益状況は17ポイント低下、業界景況は6ポイント改善となった。

## 1 主要3指標DI値推移

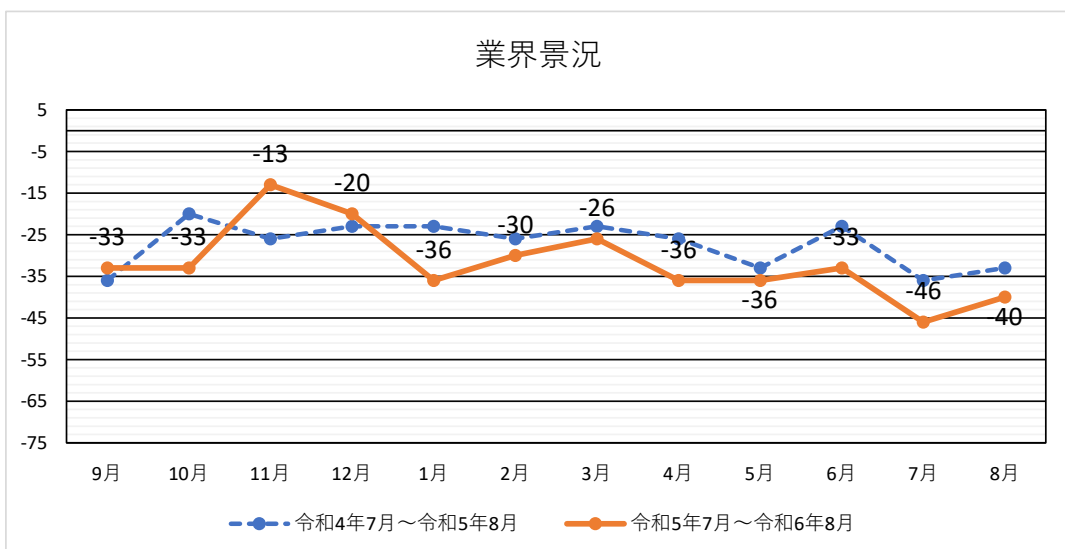
### (1) 売上高



### (2) 収益状況



### (3) 業界景況



## 2 前年同月比の業種別景気動向

(DI値)

		売上高	収益状況	業界景況
製造業	食料品	→	↓	→
	木材・木製品	↓	↓	↓
	出版・印刷	↓	↓	↓
	窯業・土石	↑	↑	↓
	鉄鋼・金属	↓	→	→
非製造業	卸売	↓	↓	↓
	小売	→	↓	↓
	商店街	→	↓	→
	サービス	→	↓	↘
	建設	↘	↓	→
	運輸	→	↓	↓

↑

↗

→

↘

↓

(30以上) (10~30未満) (△10~10未満) (△30~△10未満) (△30未満)

※DI値 = [(増加・好転組合数 - 減少・悪化組合数) / 調査対象組合数] × 100

※網掛けについては、特に悪化した項目

報告者名

宮崎県中小企業団体中央会

報告年月

令和6年8月

## 情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	木材・木製品	製材業	物価が高くなっているため待遇改善を進めていきたいが、業界全体が需要の停滞により、業績は昨年より悪くなりそうである。
	木材・木製品	製材業 (プレカット)	8月の加工坪数はいくらか改善し4月並みに戻るも前年比では64%と低水準、昨年7月が比較的良かったせいもあるがやはり低調であった。夏季休暇や地震・台風などで稼働日数も短かったことも要因の一つではある。9月も好調になる雰囲気は今のところはない。いくらか非住宅の計画があることや例年であれば業界の繁忙期に入ることを考慮すると、改善していく傾向かとは思われるが、前年比として考えると引き続き今年度全体としても低調に進むのではないだろうか。
	木材・木製品	木製品製造業	原材料価格の高騰、その他の経費の上昇に加え、最低賃金の引き上げによる人件費の増加など、中小企業にとってはかなり厳しい状況に向かっている。
	印刷	印刷・関連業	ここに至って、さらに原材料費が値上がりしてきた。最低賃金の上昇とインフレ等による影響かと思う。なかなか価格転嫁ができない状況で、今後の事業運営が厳しくなりそうだ。
	印刷	印刷・関連業	業界的に閑散期である7、8月が過ぎ、年末に向けて受注が上がってくる時期を迎え期待している。今年は春先からなかなか売上が上がらなかった事業所が多く、ここからの時期に落ち込み分を取り戻せるように準備している。
	窯業・土石製品	窯業・土石製品製造業	8月出荷数量昨年同月比143%、今年度累計出荷量では昨年対比97%となった。大手各社セメントメーカーが来年4月からの値上げを発表し、骨材・混和剤メーカーからも値上の情報が入っている。原材料価格の上昇傾向は変わらず、組合員にとって厳しい経営状況が続く。
非製造業	小売業	機械器具小売業	7月～8月は中古車競売価格が過去最高値を記録した。これは自動車メーカーの認証不正問題の影響で新車販売が滞り、中古車市場でも車両不足となっていることが大きく影響している。買い替えが進まず、中古車の供給も絞られる結果となっているためだ。また、7月までは長期的な円安・ドル高基調にあり、輸出向けの需要が堅調に推移して需給も引き締まった。少ない中古車の仕入は、少ないが故の価格高騰で、我々の組合員は仕入が難しいと口にする。仕入れたくても高く買えない現状が、結果、中古車の在庫減に繋がり、顧客に販売する車の確保も難しくなり、集客も難しくなり、車が売れないという事態になった。8月は新車販売が2ヶ月ぶりに前年割れとなった。台風10号によって新車ディーラーが営業停止を余儀なくされたことが登録・届け出に響いたとみられる。新車販売は顕著に中古車の下取りにも大きな影響を及ぼし、更なる中古車の「タマ不足」に繋がる。中古車業界はしばらく厳しい状況が続く。
	小売業	石油販売業	地震の後や台風接近前に給油客が殺到し、混乱した。災害発生時には、数量限定給油や休業するところもあるので、安心のためにも日頃から余裕を持った給油をお願いしたい。
	小売業	LPG小売販売業	8月合成CP価格(サウジ通告価格)は585.0 <sup>ドル/トン</sup> (前月比+5 <sup>ドル/トン</sup> )。7月MB価格(米国産平均価格)+(物流経費87 <sup>ドル/トン</sup> )は503 <sup>ドル/トン</sup> (前月比+21 <sup>ドル/トン</sup> )。対顧客電信売相場(7月平均)は159.16 <sup>円/ドル</sup> (前月比+0.27 <sup>円/ドル</sup> )。中東の地政学リスクの後退への期待、中国の景気先行き懸念等の要因により原油価格は前月比で下落。LPG価格は前月価格の据え置きと予想されていたが、CP及びMB価格ともに微増となった。
	商店街	宮崎市	8月は地震、猛暑、台風、物価高の影響で、消費意欲の低下が顕著であった。
	商店街	都城市	前半は天気などに恵まれ、暑い中ではあるがイベント等は人出が多かった。後半になり地震と台風の影響が少なからず出ていた。地震の直接の被害などは少なく済んだが、その後の駆け込み需要が一気にあがり、生活備品など品薄が続いていた。その後の大型台風の接近でますます品薄が続いた。災害に振り回された月であった。
	サービス業	観光業	閑散期の8月は、組合員各々で勉強会を行った。春シーズンの反省会も行い、新施設や道路などについてみんなで情報交換をし、活気のある有意義な会議となった。
サービス業	自動車整備業	今月の入庫台数は前年比並み。ただ、全く組合利用なしの組合員もいた。	

報告者名

宮崎県中小企業団体中央会

報告年月

令和6年8月

## 情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
	サービス業	自動車運転代行業	8月は地震と台風の影響で、人出の減少及び営業日数の減少で売上、収益ともに目減りした。
	建設業	管工事業	公共工事（管工事）の受注状況は順調である。
	建設業	管工事業	公共工事は順調に発注されているが、民間工事における住宅着工件数が落ち込んでいる。
	運輸業	軽貨物運送業	8月度は宅配関係は2024問題の為極力少なめで受注している。後半にかけて台風災害の物資輸送を頻繁に受注することで活気があったが、組合員不足と高齢化の影響で、素早く対応できないことが多く配車に苦労していた。燃料関係は相変わらず高止まりのまま推移しており、組合員の経営を圧迫しているのが現状だ。高齢及び病気で廃業する組合員が徐々に始まってきたので、増員対策に苦慮しながらの組合運営である。
	運輸業	貨物運送業	原油価格は、中国の需要懸念や米国の景気先行き不安が大きな下落材料となっていることや、今後更なる下落可能性を見込んだムードが続き、しばらくは軟調に推移するようであるが、その分燃料油価格激変緩和措置の補助金額は減額されると予想され、国内燃料価格は小幅に上昇すると思われるっており、組合員には閉塞感が漂っている。